

戦 評 用 紙

平成27年度 学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会 バスケットボール競技大会 埼玉県予選 (女子)

会 場 越谷市立総合体育館
対 戦 Nコート第1試合

平成27年6月21日

昌平高校	54	}	16 - 24	}	84	埼玉栄高校
			20 - 25			
			10 - 25			
			8 - 10			

リーグ戦で共に2敗を喫し、全国大会への道は断たれてしまった両チームの第3位のポジションを賭けての1戦となった。

第1P、双方マンツーマンでスタート。開始早々両チームのシュートがテンポよく決まる。昌平 #5が3P2本を含む内外角からのシュートをよく決める。栄ハイポストを起点としたオフェンスが功を奏し、#18がセカンドチャンスをもにす。ファールのかさんだ昌平に対しインサイドにボールを集めファールを誘発。フリースローでも加点していく。

第1P終了。昌平16-24栄。

第2P、栄、昌平のターンオーバーから速攻・レイアップを連続で決める。対する昌平 #9の3P、#16のジャンプシュートで応戦するも残り6分で5ファールを犯してしまいタイムアウト。仕切り直しを図る。直後 #5の巧みなステップワークからのシュート、#16のドライブインで得点する。対する栄 #7 - #9のコンビネーションプレー、オフェンスリバウンドにあわせたインサイドでの得点で引き離しにかかる。残り2分、昌平のオフェンスの要 #5が負傷退場。苦しいゲーム運びとなるもベンチスタートの #11が意地をみせシュートを決めていく。第2P終了。昌平36-49栄。

第3P、昌平ディフェンスをハーフコート2-3ゾーンにスイッチ。ディフェンスリバウンド奪取を図り、シュートに繋げるもリングに弾かれ3分間ノーゴール。一方の栄 #5が4連続ゴールを上げるなどし、徐々にその差を拡げていく。残り3分昌平タイムアウトの後ディフェンスをマンツーマンへ戻す。その後昌平 #12がけがでベンチへ下がり、ますます苦戦を強いられる。栄 #5、#7のシュートの確率が増し、28点の大量リードで第3P終了。昌平46-74栄。

第4Pに入り、双方なかなかシュートが決まらず、こう着状態が続く。残り5分を経過したあたりから栄メンバーを大幅に入れ替える。体格面でのメリットを活かして栄がリバウンドを制する。昌平 #4が奮起し、2本の3Pを沈めるも時すでに遅く、30点の大量リードで埼玉栄が勝利をおさめた。試合終了。昌平54-84栄。

(記録者:越谷北高校 永江健一)